

生徒・保護者アンケート報告

深川市立一已中学校

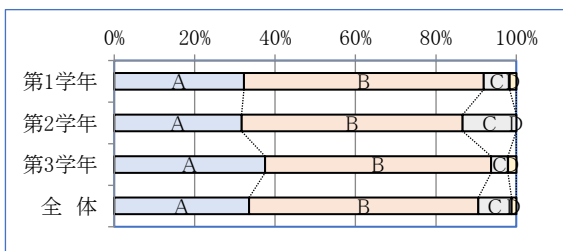
令和5年度に行いました学校評価（生徒・保護者アンケート）の集約・分析をさせていただきました。たくさんの貴重なご意見は、今後、学校改善に向けて共有し、改善を図ってまいりたいと思います。ご多用の中、ご意見を記載していただき、心より感謝申し上げます。引き続き、本校の教育活動につきまして、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

1. 生徒アンケート

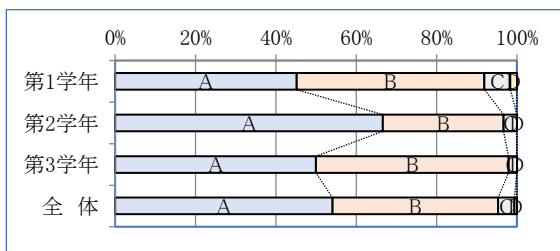
(1) 結果 【A：十分、B：おおむね十分、C：やや不十分、D：不十分】

【質問1】 三出来運動について

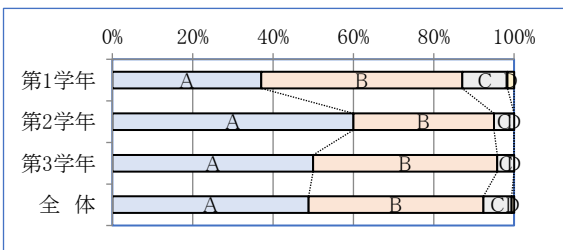
①すすんで挨拶をするようにしている。



②すすんで時間を守るようにしている。



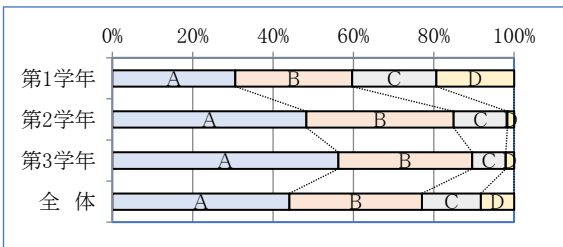
③すすんで後片付けをするようにしている。



【質問2】 3つのいっぱい活動について

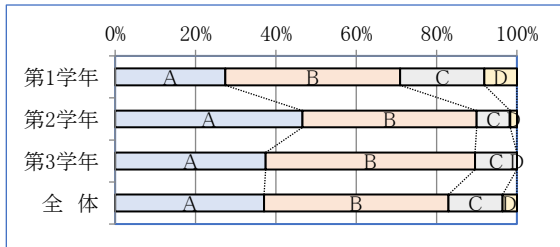
①「歌いっぱい」運動

合唱活動に一生懸命取り組んでいる。



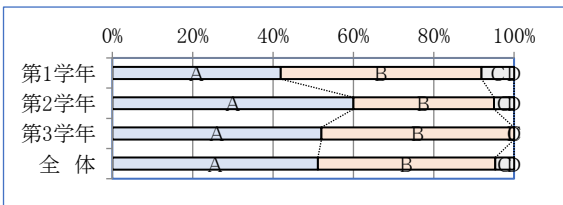
②「花いっぱい」運動

緑化活動や清掃などの美化活動に努めている。



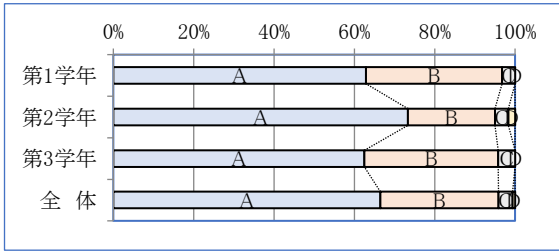
③「気持ちいっぱい」運動

思いやりの気持ちを持って人に接している。

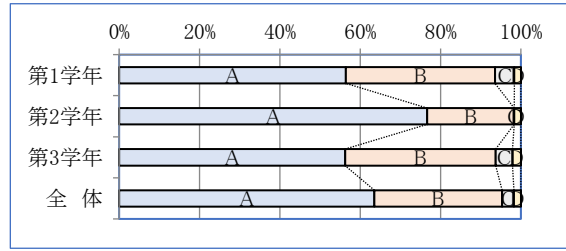


【質問3】 学習活動について

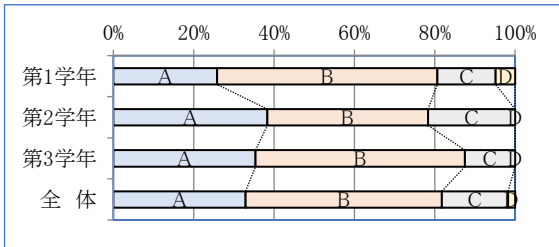
①先生方は「課題」や「まとめ」を提示し、教え方を工夫して授業をしている。



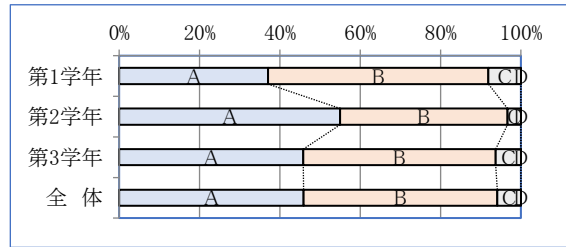
②先生方は、授業で一人一人が理解できるようにしていねいに授業をしている。



③授業でわからないことがあるとき、いつでも質問しやすい。

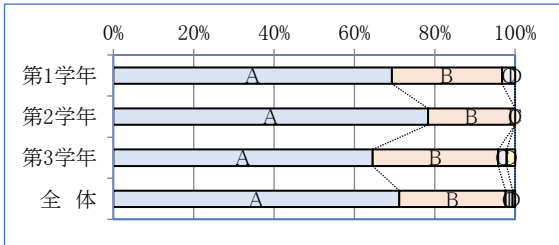


④授業中に集中して取り組むことができる。

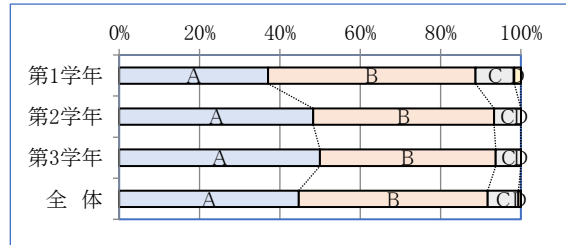


【質問4】 学校生活全般について

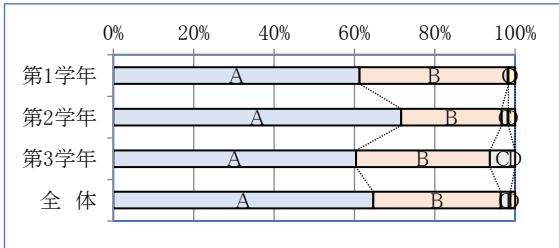
①先生方は、あなたの話をよく聞いてくれる。



②学校のきまりや言葉遣いを意識して生活している。



③学校生活は充実したものになっている。



(2) 分析及び、考察

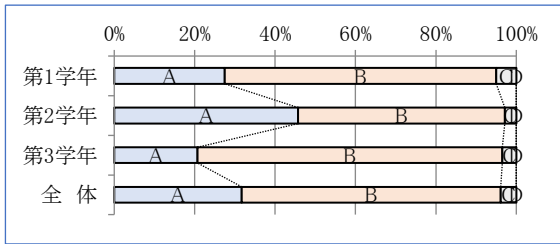
- ・ 生徒アンケートでは、全ての質問において、肯定的な回答の割合が高く、概ね教育活動の目標が達成されているものと判断できる。
- ・ 質問1、質問4の結果から、生徒の規範意識が高く、明るく、落ち着いた生活を心がけ、充実した生活を送っていると判断できる。
- ・ 質問2「3つのいっぱい運動」では、第1学年において、「歌いっぱい」運動について、アンケート調査後の取組が多かったため、肯定的な回答の割合が低くなっていると考えられる。3つのいっぱい運動を含め、行事への取組では、仲間と協力し、積極的に活動している本校生徒の良さでうかがえる。
- ・ 質問3の結果から、本校生徒は、概ね真面目な態度で学習に臨んでいると判断できる。しかしながら、「授業でわからないことがあるとき、いつでも質問しやすい」については、肯定的な回答が、他の質問に比べ、低くなっている。

2. 保護者アンケート

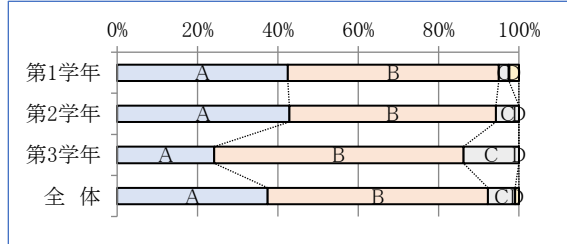
(1) 結果 【A：十分、B：おおむね十分、C：やや不十分、D：不十分】

【質問1】 学校全体を見て

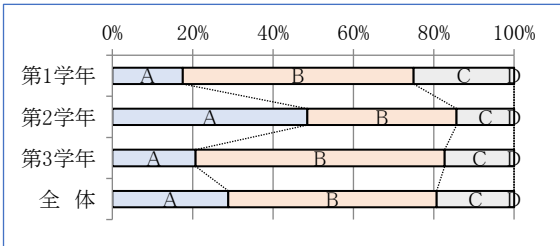
①「学校便り」等を利用し、学校の取組や学級の生徒の様子について、十分に伝わっている。



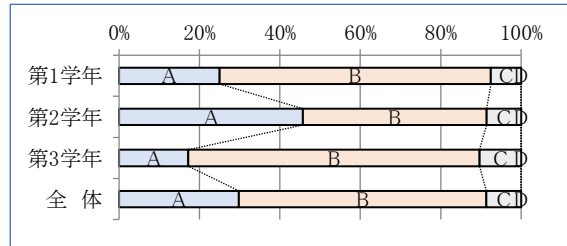
②学校生活を通して、お子さんの成長が感じられる。



③進路指導・進路情報提供に努めている。十分に伝わっている。

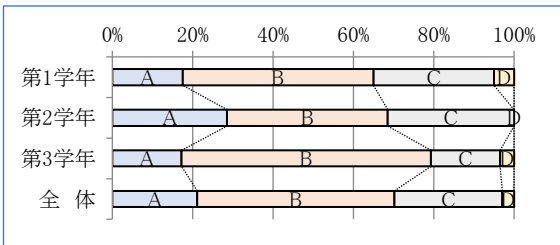


④生徒理解を深めながら生徒指導を行っている。十分なものになっている。

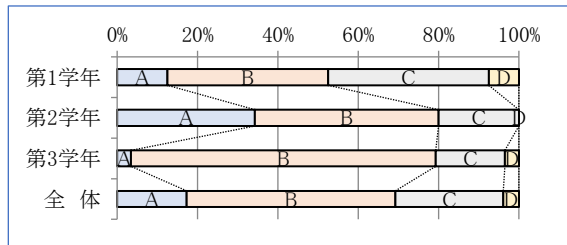


【質問2】 お子さんの生活する様子を見て

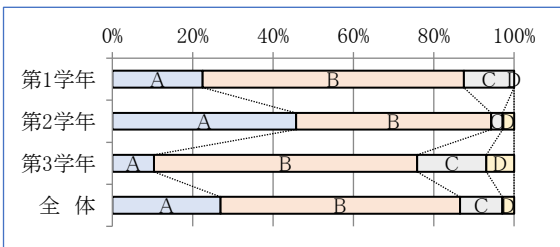
⑤学校では、三出来運動（挨拶・時間を守る・後片付けが出来る）に取り組んでいる。身に付いている様子がうかがえる。



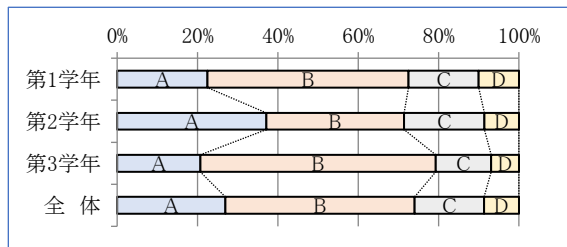
⑥学校では、3つのいっぱい運動（歌いっぱい・花いっぱい・気持ちいっぱい）の活動に取り組んでいる。活動の様子が伝わっている。



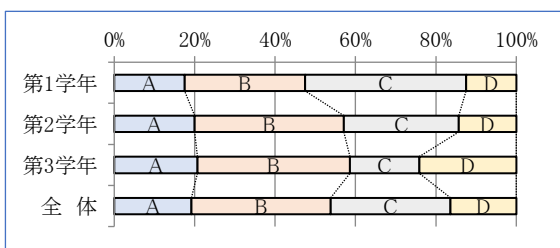
⑦学校では、教科指導や課外活動を通じて、認め合い・支え合い、仲間づくりに努めている。身に付いている様子がうかがえる。



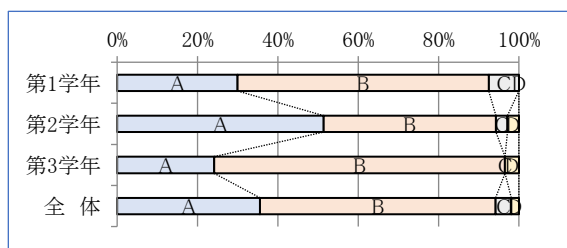
⑧学校では、授業において、個に応じた指導の工夫など授業改善に努めている。学習に意欲的に取り組んでいる様子がうかがえる。



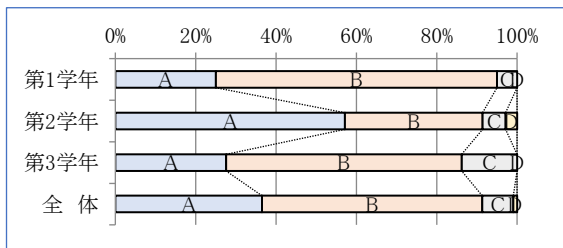
⑨家庭学習の習慣が定着している。



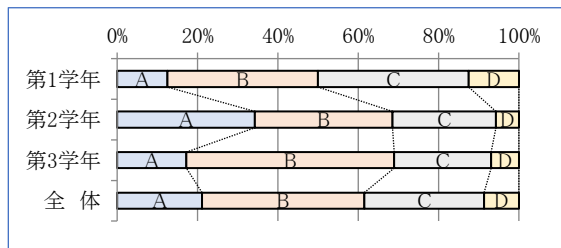
⑩いじめや差別に気付き、いじめや差別をしない、許さない雰囲気が育っていると感じる。



⑪学校生活全体を通じて「命の尊さ」「思いやり」などの指導に取り組んでいる。道徳心が育っていると思う。

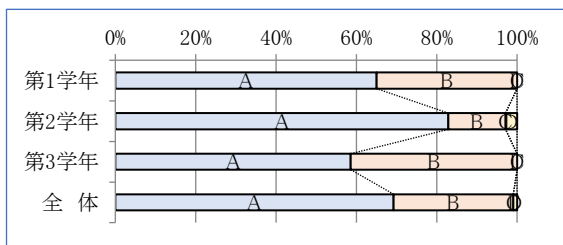


⑫学校でも、スマホやインターネットの使い方を指導している。家庭では、約束事やルールを守っている。

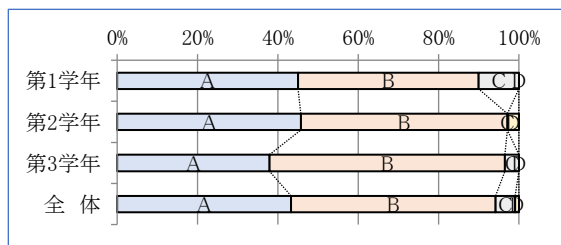


【質問3】 今年度の取組として

⑬学校では、引き続き、感染予防を行いながら、学校行事を通じた学びの充実に努めてきた。どのように考えるか。



⑭学校行事や PTA 活動等、家庭や地域と関わりのある事業の在り方について、見直ししながら、新たな仕組みで取組を進めてきた。どのように考えるか。



(2) 分析及び、考察

- ・ 質問1の結果から、保護者に対して必要な情報を適宜提供しながら、生徒理解を深め、生徒指導に当たる本校教員の姿勢について、保護者は理解を示し、生徒の成長を実感していると判断できる。
- ・ 質問2の結果では、「家庭学習の定着」「スマホ等のルールを守る」について、肯定的な回答が低い。家庭との連携を深め、改善に努めることが必要である。
- ・ 質問3の結果から、アフターコロナにおける学校の取組（学校行事を通じた学びの充実に、PTA活動等、家庭や地域と関わりのある事業の在り方について、見直ししながら、新たな仕組みで取組）について、理解が得られていると判断できる。

3. まとめ

【学習について】

今後も、生徒が身に付けるべき資質・能力を育成するために教職員の授業改善に向けた研修に努め、全ての生徒に「分かる」を実感させる授業を目指していくことが重要と考えます。また、望ましい学習習慣の確立を目指し、①個に応じた家庭学習の在り方について、共通理解を図り、一貫した指導の継続と教員の協働体制の確立を図ること。②生徒が、自ら計画を立てて学習し、規則正しい生活を送ることのできる環境づくりに向けた家庭との協力体制の確立を目指していきたいと考えます。

【生活について】

今後も、学校生活全般において、豊かな人間性を育む教育活動の充実に努めていくことが重要と考えます。特に、いじめ等の問題について、生徒同士は、概ね友好的で良好な人間関係を築いていると判断する中でも、しっかりとした組織体制で「いじめや差別を許さない」等の指導や取組を行っていくことが重要です。引き続き、全教職員が協力体制のもと、情報を共有し、早期発見、対処等に組織的に取り組み、「いじめ見逃し0、解消100%」を目指し、生徒が安心して通える学校づくりに努めていきます。